玉川学園 地域の新聞

「坂のまち元気プロジェクト」活動報告2025

製作
玉川学園
坂のまち
取材班

この新聞は、玉川学園地域の「坂のまち元気プロジェクト（ＰＪ）」の活動を紹介する新聞の第2号です。

町五小から57点出展

10の坂　塗り絵楽しむ

～コミュニティセンターまつり2025～



▲ずらりと並んだ町五小の児童の作品（右上）と教職員の作品（左上）
▼花影坂は春夏秋冬の塗り絵がそろった



「坂のまち元気ＰＪ」は、２０２５年も「玉川学園コミュニティーセンター（ＣＣ）まつり」に参加し、にぎわいに一役買いました。

２０２４年のＣＣまつりでは、玉川学園在住の一級建築士、河原井弘道さんが描いた10の坂（※）の絵を、制作過程がわかる下絵とともに展示しました。

２０２５年11月１日、２日に開かれた今回は、その下絵を活用、地元の町田第五小学校に、下絵で塗り絵をしてみませんかと呼びかけたところ、教職員も含めて57点の作品が集まりました。

そのすべてを展示しましたが、まさに色使いなど十人十色、千差万別と言っていい作品群で、春夏秋冬の花影坂が描かれ、夕日を入れた作品や、夜の坂を描いた作品などもならびました。

※10の坂とは　玉川学園地域で名前のついているなかよし坂、無窮坂、花影坂、うぐいす坂（女坂、男坂）、ふれあい坂、月見坂、竹坂、ころころ坂、のらくろ坂を指します。

坂のまち元気プロジェクトとは　「坂のまち」としての玉川学園地域の魅力をアピールし、地域に興味や愛着をもつ若い世帯を増やすことで、持続可能なコミュニティーの実現をめざす住民らの活動です。

２０２２年、玉川学園コミュニティセンターで開かれた町田市の地区別懇談会のグループを母体にして誕生しました。

河原井さんの下絵で
大人も子どもも
お絵描きに挑戦



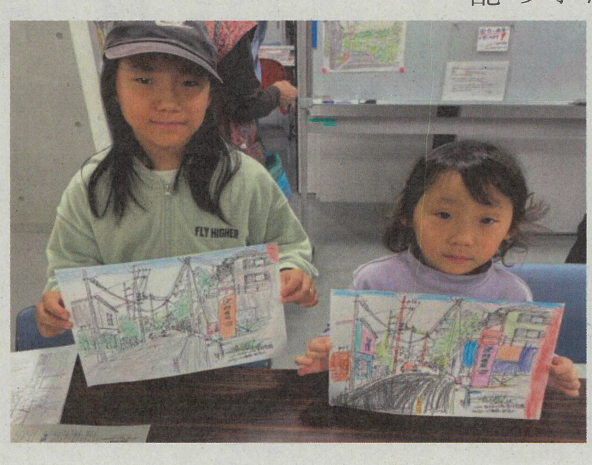
また、会場にも10種類の下絵を置いてお絵描きコーナーにしたところ、親子連れで大にぎわいに。子どもだけでなく、時間をかけて作品を仕上げる大人の姿も見られました。

来場者は両日とも６００人を超え、２０２４年を上回りました。

また、１６０枚以上の下絵を配布することに。河原井さんが描いた坂の絵のポストカードそのものも１０００枚近い配布数となりました。

◀大にぎわいとなったお絵描き会場（手前）







坂のまち元気プロジェクト - まちだの活動を知る、つなげる｜まちかつ
machikatsu-machida.com